

平成25年度 予算

一般会計 115億 130万円



宇島駅北側に駐車場を整備しました。ご利用ください。

平成25年度の豊前市予算は「施政方針」(2～4ページ)で紹介しました事業の推進をめざしています。

今後の国の動向、社会情勢等に注意し、厳しい財政事情の中、これまで以上に効率的な運営や経費の節減を考えていきます。

平成25年度の予算額は、一般会計が115億130万円で対前年度比0.9%減、特別会計等を含む総額では、175億4,989万円で同0.8%減となっています。

全会計予算額

(単位:万円、%)

区 分		25年度	24年度	増 減	伸率	
一 般 会 計		115億0,130	116億0,770	△1億0,640	△0.9	
特別会計	国民健康保険事業	40億4,669	38億3,183	2億1,486	5.6	
	後期高齢者医療事業	4億3,596	4億3,626	△30	△0.1	
	住宅新築資金等貸付事業	105	291	△186	△64.0	
	市営駐車場事業	1,010	730	280	38.4	
	バス事業	3,510	3,521	△12	△0.3	
	工業用地造成事業	363	2,663	△2,300	△86.4	
企業会計	水道事業	6億7,442	7億1,383	△3,941	△5.5	
	東部地区工業用水道事業	2,250	2,272	△22	△1.0	
	下水道事業	公共下水道事業	7億7,137	9億5,150	△1億8,013	△18.9
		農業集落排水施設事業	4,779	4,734	44	0.9
総 額		175億4,989	176億8,323	△1億3,334	△0.8	

※表示単位未満は四捨五入のため、計算式に一致しない箇所があります。

一般会計予算の概要

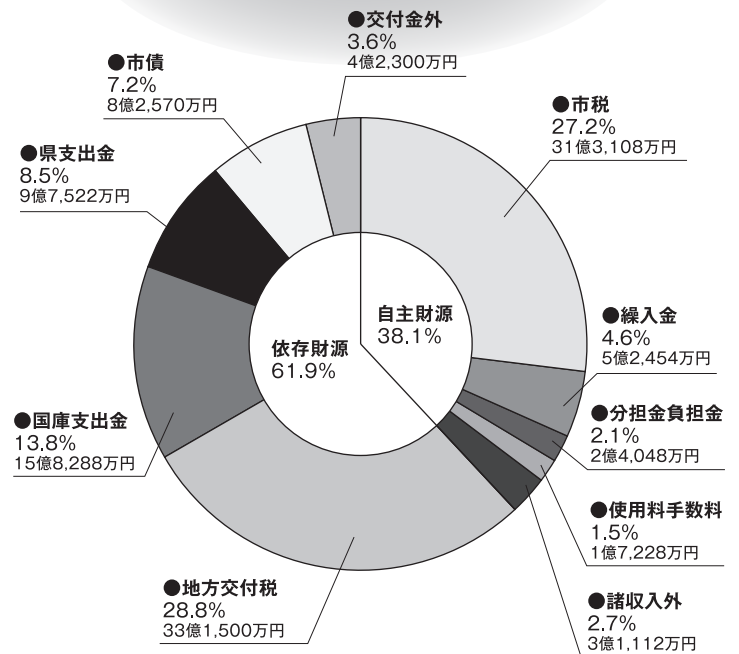
歳入 市税については固定資産税が償却資産等の減少により7,005万円の減、市町村たばこ税が3,600万円の増、全体では対前年度比0.7%(2,121万円)の減収を見込んでいます。地方交付税については普通交付税の減収見込みにより2.6%(8,700万円)の減となりました。国庫支出金については生活保護費負担金や宇島駅自由通路等整備事業補助金等の減のため5.0%(8,252万円)の減となっています。また、市債は総額で0.8%(680万円)の減となりました。

歳出 義務的経費については人件費が5.4%(9,710万円)の減額、扶助費が障害者福祉費、並びに老人保護費の増のため3.6%(1億356万円)の増、公債費が2.9%(4,013万円)の減となりました。投資的経費については、宇島駅自由通路等整備事業及び職業訓練センター改修工事の減等により、16.5%(2億1,049万円)の減となりました。

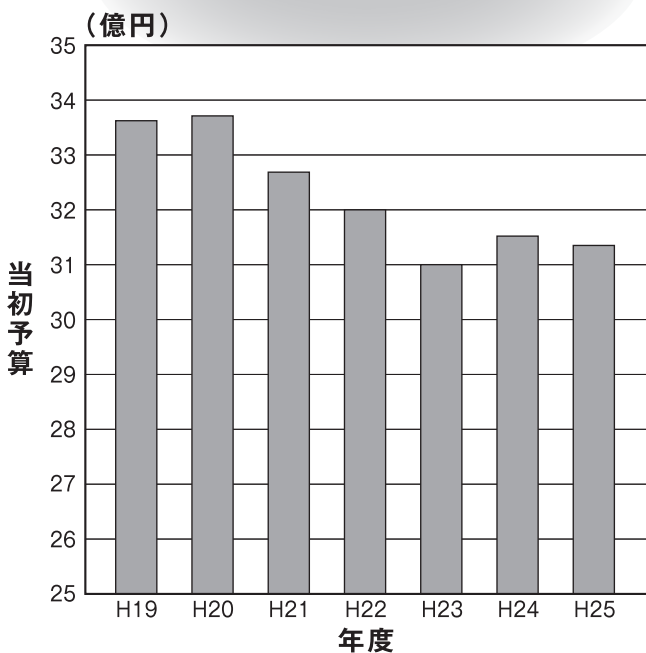
市税31億3,108万円

[市税の内訳]	[単位:万円]	[伸率%]
市民税	12億7,980	0.8
固定資産税	15億7,928	△4.2
軽自動車税	6,800	3.8
市町村たばこ税	2億0,400	21.4

歳入予算の内訳



市税の推移



予算用語解説

◎歳入と歳出

これは一般家庭の収入と支出にあたるもので次のような性質や目的に分類されます。

◎自主財源と依存財源

歳入(収入)でよく使われるのが「自主財源」と「依存財源」です。

自主財源は、市税のように市が自主的に調達できる財源です。

依存財源は、国や県の意思により定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源です。

自主財源の比率が大きいほど行政の自主性が確保されます。

◎性質別分類と目的別分類

歳出(支出)の見方として予算を使う性質ごとに分類した「性質別分類」と使う目的ごとに分類した「目的別分類」の二つがあります。

性質別分類は、市の財政運営や経済的機能状況を知ることができます。

目的別分類は、どのような事業にいくら使うかを知ることができます。

歳出予算の内訳

性質別歳出分類

義務的経費 (52.6%)			投資的経費 (9.3%)	その他の経費 (38.1%)		
扶助費 30億838万円 (26.2%) 生活保護、児童、老人、障害者の方を援助するために使います。	人件費 16億9,733万円 (14.8%) 市長、市職員等の給与退職金、議員・各種委員の報酬などに使います。	公債費 13億4,666万円 (11.7%) 市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。	普通建設事業費等 10億6,509万円 (9.3%) 道路、公園、学校など、将来に残る施設を建設するために使います。	補助費等 16億1,962万円 (14.1%) 一部事務組合負担金や各種団体への補助金などに使います。	物件費 14億1,453万円 (12.3%) 電算の委託料や光熱水費等に使います。	繰出金 11億7,451万円 (10.2%) 国民健康保険事業会計等の他会計を補助するために使います。

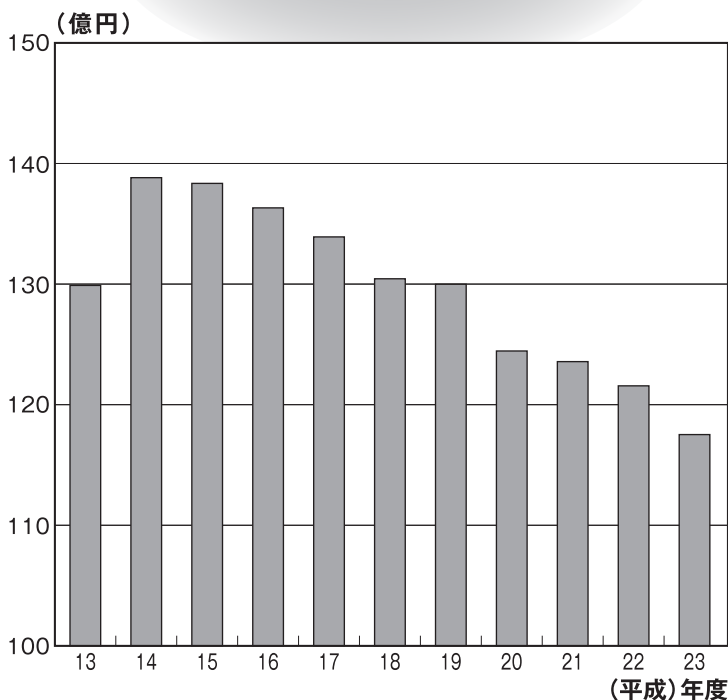
目的別歳出分類

投資出資及び貸付金、維持補修費、積立金など
1億7,520万円 (1.5%)

民生費 47億8,533万円 (41.6%) 高齢者、障害者、児童、生活保護者の方の社会福祉事業のために使います。	公債費 13億4,666万円 (11.7%) 市債(借入金)の元利償還金、一時借入金の利子に使います。	土木費 11億450万円 (9.6%) 道路、橋、公園、市営住宅などの維持管理、整備のために使います。	総務費 10億9,133万円 (9.5%) 市役所の一般的な事務経費や選挙などに使います。	衛生費 9億908万円 (7.9%) ごみ、し尿処理、保健衛生などに使います。	教育費 8億6,978万円 (7.6%) 小・中学校などの維持管理等に使います。	議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など 8億6,497万円 (7.5%)
---	---	---	---	---	--	---

農林水産業費
5億2,967万円 (4.6%)

市債残高の推移



市債は道路等長期にわたって利用するものに対して、その経費にあてるため政府などから借り入れる長期借入金のことで、一般家庭という借金に当たるものです。

この借金が多くなると返済にかかる費用が長期にわたって市の財政を圧迫することになるため、市では、過去の借入金の償還額より新たな借入額を少なくすることで将来的な負担を抑制しています。

今後も適正な管理を行いながら、市債残高を確実に減らしていきます。

予算の主な事業

取り組む主な事業とその予算額の一部を紹介します。

◎安全・安心なまちづくり

市民の生命・財産を守るべく災害対策の強化に努めます。

老朽危険家屋等除却促進事業

事業費 150万円

倒壊の恐れのある危険な家屋の撤去を促進します。
(生活環境課)

地域防災計画見直し業務

事業費 360万円

平成22年3月策定の地域防災計画を見直し、防災対策の強化に努めます。(総務課)

市民体育館改修事業(24年度3月補正)

事業費 1億5,230万円

市民体育館の屋根防水や耐震化などを実施します。
(教育課)

◎都市基盤の整備

インフラ整備を図り、暮らしやすいまちを創出します。

光ブロードバンド基盤整備事業

事業費 8,945万円

岩屋、合河及び横武地区の一部に光ブロードバンドを敷設します。(財務課)

上町～沓川池線街路事業

事業費 2億6,800万円

上町～沓川池線の整備を継続し、早期の全線開通を目指します。(まちづくり課)

公園施設改修事業(24年度3月補正)

事業費 7,200万円

天地山公園及び平池公園の遊具や駐車場の整備を実施します。(まちづくり課)

◎健康・福祉の充実

誰もが健康で幸せに暮らせる元気なまちづくりを目指します。

地域包括支援センター事業

事業費 8,366万円

高齢者のための介護予防事業及び相談事業に取り組めます。(福祉課)

介護基盤緊急整備事業

事業費 3,075万円

地域密着型の入所施設の整備を行います。
(福祉課)

◎産業の振興

観光拠点の整備、地産地消の取り組み、企業誘致により産業の振興に努めます。

森林セラピー整備事業

事業費 910万円

豊かな自然、山林を活用した森林セラピー基地の整備を実施します。(農林水産課)

豊前市産材利用促進事業

事業費 300万円

豊前市産材を利用した新增築、リフォームに対し助成を行います。(農林水産課)

企業誘致対策事業

事業費 1,224万円

定住人口の増加、雇用確保に大きな効果がある企業誘致を積極的に推進します。(まちづくり課)

平成25年度

第5次豊前市総合計画の着実な実現に向け、25年度に

◎ぶぜん 未来応援プラン(平成24年～26年) ～子どもの育ち、子育て家庭を応援します～

豊前市では現在少子化対策・人口増対策を市政の最重要課題の一つとしてとらえ、保健、医療、福祉、教育、住宅といったあらゆる分野に一丸となって取り組む未来応援プランをH23年度より実行中です。豊前市に住み続けたい、豊かな自然の残る豊前市で子どもを産み育てたいと思っていただけるような、豊前市独自の魅力ある施策を展開することで、人口の流出を抑制し定住化を促進していくとともに、未来を担う子どもの健全な育成を支援します。

25年度より新たに取組む事業についてご紹介します。

ウェルカムバッグ事業

事業費 18万円

新たに転入される世帯に豊前市を知ってもらい、新生活をスムーズにスタートしていただくために市からのお知らせ、暮らしの便利帳、各種パンフレット、入浴券等をバッグに入れて渡します。
(総合政策課)

保育料の助成事業

事業費 4,739万円

多子世帯の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、戸籍上の第3子以降の児童に係る保育料を無料化します。
(福祉課)

知育絵本プレゼント事業

事業費 55万円

ブックスタートに加えさらに、1歳6ヶ月児、3歳児健診を受診されたお子さんに発育段階にあわせた絵本をプレゼントし、子育てを応援します。
(市民健康課)



空き家バンク利用契約支援 助成金交付事業

事業費 100万円

空き家バンクの利用登録者に対し、不動産業者に支払う仲介手数料の一部を助成します。(一契約につき上限5万円)安心して契約をしていただくことでさらなる定住を促進します。
(総合政策課)

昨年度より実施中の事業

- ・定住促進住宅のリフォーム(建設課)・・・450万円
- ・新婚家庭家賃助成金交付事業(総合政策課)・・・540万円
- ・不妊治療費の助成(市民健康課)・・・100万円
- ・乳幼児・こども医療費支給事業(市民健康課)・・・7,023万円
- ・病後児保育事業(福祉課)・・・205万円
- ・子育てサポート事業(福祉課)・・・30万円
- ・学び支援事業(教育課)・・・250万円
- ・子ども文化事業(教育課)・・・200万円
- ・小規模特認校特色ある教育活動支援事業(教育課)・・・34万円
- ・子ども夢応援事業(教育課)・・・115万円

詳しい
内容については
各課へ
お問い合わせ
ください。

